

進路だより

浜松視覚特別支援学校進路指導課

令和8年5月15日(金) No.2

★進路講演会「進路への道～出逢いの先へ～」の報告★

5月1日(金)の授業参観日には、「進路講演会」も実施しました。幼小学部から高等部まで、多くの保護者の皆様に、御参加いただきました。ありがとうございました。



講演会には、本校を卒業し、現在は、牧之原市にある矢崎部品株式会社ものづくりセンターに勤務されている八木成美さんを講師としてお招きし、「進路への道～出逢いの先へ～」というテーマで御講演いただきました。県内および国内における自動車部品の大手企業に勤務される八木さんの卒業後から現在までのライフストーリーや学生時代の葛藤、先輩としてのアドバイスなどについて、大変貴重なお話をしていただきました。以下に講演について報告をします。

1 矢崎部品株式会社ものづくりセンターについて

八木さんが、現在勤務されている矢崎部品株式会

社ものづくりセンターは、矢崎総業株式会社、矢崎計器株式会社、矢崎エナジーシステム株式会社などのグループ会社を持つ矢崎グループの会社の一つです。主に自動車の電線や部品、室内ランプなどを製造販売しています。「世界と共にある企業」「社会から必要とされる企業」を社是とし、世界46か国の地域に事業を展開し、ものづくりを通して社会貢献を目指している会社です。八木さんは、ものづくりセンター内ダイバーシティ推進チームに所属し、主に、受付業務、電話対応、発注業務などを行っています。ものづくりセンターは、牧之原台地に位置し、3300人もの従業員が勤務しています。八木さんが勤務するダイバーシティ推進チームは、様々な障がいを持った方たちが共に働いている部署です。チームには18人のメンバーがおり、そのうち14人が身体・精神・療育などの手帳を所持しています。チームの主な仕事は、依頼業務、清掃、分別、デザインなどになります。会社は、通勤支援も行っており、菊川駅や金谷駅からは通勤バスを利用することができます。



2 ハ木さんの就職までのライフストーリーについて

ハ木さんは、本校の高等部普通科教科コースの卒業生です。当時は寄宿舎にも入舎し、学校生活を送っていました。寄宿舎は合宿みたいな雰囲気もありましたが、同級生も少なく、寂しさも大きかったようです。3年間の間には、様々な心の動きがありました。進路をめぐる親子間の意見の不一致、先生への不信感なども重なりました。学校生活から逃げ出したい気持ちでいっぱいになったこともあったようです。卒業を控えるころには、心も体も弱っていて、ひとまず、就職はせずに、実家に戻り、家事手伝いをすることになりました。

家事手伝いをする傍ら、月に一度、地元の福祉センターにも通い、支援者と面談を重ねました。そして、面談を経て、近隣の就労継続支援 B 型事業所で働くこととなります。そこでの仕事（機織り、糸づくり）をきっかけに、大井川の伝統工芸、葛布（くずふ）の仕事と出逢います。もちろん、そちらで出逢ったのは葛布だけではありません。ハ木さんに影響を与えた様々な人との出逢いもありました。身近で輝いている多くの人々が、ハ木さんの視野や世界を広げ、ハ木さんの次への一歩を後押ししました。ハ木さんは、より豊かな将来に向け、障害者合同説明会に参加します。そして、ものづくりセン

ターと出逢い、3か月のトライアル雇用をクリアし、正式に就職することとなりました。

3 八木さんからのアドバイス

講演会の結びには、八木さんから、そして、八木さんを育てた八木さんのお母様から（八木さんが聞き取ってくださったこと）のアドバイスもいただきました。

八木さん御自身の経験から、生徒には、「周りを信じること」、保護者には、「子どもと一緒にいられることに自信を持ち、希望をもって、寄り添うこと」、教師には、「家族と保護者の思いに寄り添うこと」の大切さを強調して伝えてくれました。

また、八木さんのお母様の声として、「将来の選択を急ぎ過ぎることはない。焦る必要はない。本人の思いを尊重し、寄り添い見守ることが一番大事である。」ことも伝えてくれました。

現在の就職に至るまでには、多くの方が八木さんに関わってきました。八木さんは、それらの出逢いや縁もとても大切にしています。そしてそれら



の出逢いや縁が八木さんの生活をさらに豊かにしてい

ます。「進路への道」の途中では、チョークアートやフラダンス、ネイルなどにも出逢い、仕事以外でも、大変充実した日々を過ごされているようです。

今回は卒業生である八木さんのお話を聞くことができました。普通科の生徒をはじめ、その御家族の中にも、進路選択について悩んでいる人は少なくなく、決して順調とは言えない八木さんの「進路への道」は、私たちの心に、自己肯定とポジティブな気持ちを抱かせてくれました。

八木さんは、講演の中で、「進路や就職につながる入学試験や国家試験に失敗している人、思い通りいかなかった人をたくさん見ている。」と話されていました。進路選択・進路決定においては、思うようにいかない人の方が圧倒的に多いのかもしれませんが。それでも、焦らず、皆で寄り添い、希望をもって自己実現を目指せば、回り道をしたとしても、それぞれの目指すところにたどり着けるのかもしれませんが。今回、八木さんから学んだことを胸に明日からも精一杯努力していきましょう。

4 八木さんを囲む会「成美さんに聞いてみよう」

講演会の後には、小学部児童のリクエストにも応えていただき、八木さんを囲む会「成美さんに聞いてみよ



う」の時間も設けました。児童からはたくさんの質問が挙がりました。八木さんは、小学生の学校生活の悩みや疑問、小学生時代にがんばっておくとよいことな

どについて、先輩の視点から、正直かつ丁寧にお話してくれました。

学校生活は、楽しいことばかりではなく、挑戦しなければならないこともある…児童は、「今の自分」に目を向ける大変有意義な時間を持つことができました。

八木さん、本当にありがとうございました。

(文責:進路指導課 吉田)